


## 令和5年度 地域活性化活動助成事業 活動概要

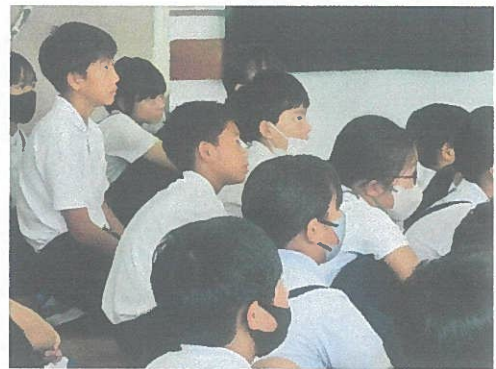
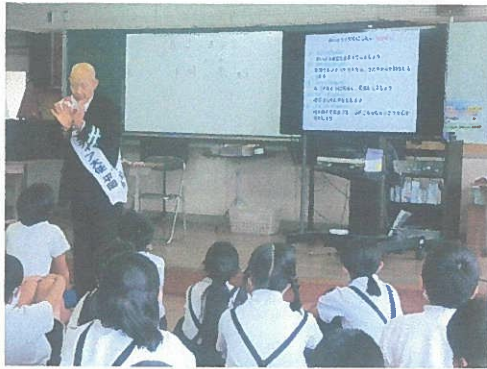
団体名	防府市立華浦小学校
活動名	5つの「あ」プロジェクト ～あいさつ運動活性化プロジェクト～
活動概要	<p>◎ 期 日            令和5年9月26日（火）</p> <p>◎ ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長年、あいさつの大切さを体現している著名な講師を招いて児童と出合わせ、その行動力や背景にある熱い思いを実感させることで、児童のあいさつプロジェクトの活性化を図る。</li> <li>○ あいさつの大切さを小学校（児童・教職員）と華浦地域（保護者・地域住民）が共有することで、学校や公民館を核とした地域づくりの一助とする。</li> </ul> <p>◎ 講師について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平岡 三光（ひらおか みつみ）氏    82歳</li> <li>○ プロフィール</li> </ul> <p>福岡の西日本短期大学附属高校に英語教師として赴任し、後に教頭となる。同校に40年間勤務し、その間、愚直にあいさつ運動を続け、荒れていた学校のたて直しに貢献する。平成17年末に定年退職。教え子には、北海道日本ハムファイターズの新庄剛志監督、千葉ロッテマリーンズの小野郁投手、女優の田中麗奈、元水泳オリンピック代表選手で俳優の藤本隆宏らがいる。</p> <p>西日本短期大学附属高校を定年退職後、平成21年に福岡県みやま市で発足した全日本あいさつボランティア協会の「あいさつボランティア大使」として全国の学校や企業を訪問し、「あいさつ運動」や「講演会」を展開している。</p> <p>◎ 活動の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝のあいさつ運動</li> </ul> <p>朝7：30から児童の登校時間に合わせて、本校北門で「あいさつ運動」に加わっていただいた。平岡氏の張りのある大きな声でのあいさつに戸惑っている児童が何人かいたものの、その温かい人柄に触れ、児童も笑顔であいさつを返していた。平岡氏より先にあいさつをする児童がいたら、即座に価値付けてグータッチを求めるなど、児童一人ひとりに誠意をもって接しておられ、児童は、平岡氏のあいさつの世界に引き込まれていったようである。</p>
	

○ あいさつ講話

「あいさつ運動」に続いて、プロジェクトを先導している6年生に45分間の講話をしていただいた。

あいさつをはじめとする「礼の精神」が如何に大切なのか。どれほど人を幸せにするのか。ご自分の経験や大谷翔平選手の例を挙げながら、プロジェクトのリーダーである6年生に情熱的に語っていただいた。また、「人権尊重や世界平和の視点からのあいさつの意味」、「あいさつ実践力を高める5S（ストップ、スマイル、スパーク、スピーディー、スピリッツ）」を教えてください、児童は真剣な目つきで平岡氏の話を心に刻んでいた。

そして、最後は、「あなたたちは唯一無二の存在、自分と友達の人格や個性を大切に生きてください。」と力強いメッセージをいただいた。



活動概要

◎ 成果と今後の課題にかえて（児童の感想より）

- あいさつは「人と人とをつないでくれること」と、再認識した。
- 平岡さんのように気持ちのよいあいさつをして、みんなを元気にしたい。
- あいさつで人間関係がよくなって、それが世界をよくすることにつながるという話は驚いた。
- お互いが幸せになるための第一歩として、あいさつの「5つのS」を意識していきたい。
- あいさつ一つひとつに気持ちをこめてどんどんあいさつをしていきたい。
- 58年間毎日気持ちの良いあいさつを続けられていることがすごいと思った。
- これまで大きな声であいさつすることを恥ずかしいことだと思っていたけど、平岡先生に勇気をもって、元気に声を出したいと思った。
- 「戦争や犯罪のない平和な世界を願うけど、願うだけではなく行動に変えなくてはいけない。」という話が印象に残った。相手を思って接したり、あいさつをしたりするところから始めていきたい。